



夢・いっぱい

第2号

令和4年4月25日

2022年度の経営方針

今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

地域と共に育てる

校長 栗林 孝幸

4月11日に74名の新1年生を迎え、令和4年度、愛宕小学校は467名でのスタートを切ることができました。学校経営方針にもあるように、明日が待ち遠しいと思えるような学校をめざし、保護者、地域の方々と協力し合っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

愛宕の子は「愛宕地域の宝」です。将来、愛宕に住み続けるかどうかはわかりませんが、幼少期を過ごすこの地域は、子どもたちには原風景として刻み込まれます。そして、大人になったときに「懐かしい場所」となるはずです。私たち大人が、懐かしい場所を思い出すとき、なんとも言えない気持ちになることがあると思いますが、そんな思いを子どもたちにも将来もってほしいと思います。

そのためには、地域を知らなければなりません。地域の歴史や文化、自然、人などに直接触れ、良さを実感することが愛着を生みます。授業などの学習の中で、地域を取り上げ学ぶことをこれからも続けていきたいと思えます。また、私たち教職員もこの地域の良さに触れ、子どもたちに伝えたいことを探したいと思っています。

あったかネットチャレンジ目標

あったかネット（川下中学校区協育ネット協議会）で、つまりは愛宕小学校だけでなく中学校区で頑張っていく目標です。

- ・自分からあいさつ・・・文字通り、自分から先にあいさつができるように
- ・サイレント歩行・・・廊下は静かに歩きましょう。
- ・サイレント掃除・・・黙って一生懸命掃除をしましょう。



「学力」を身につける

ここでいうところの学力は、点数ではありません。子どもたちにはとにかく学ぶことを「面白い！」と思っしてほしいと思っています。新しいことを知ることやできるようになることは喜びです。大人でも子どもでも、知的好奇心が芽生えると夢中で学びます。時間を忘れ、時には食べることも忘れて・・・。また、一人で学ぶことも大切ですが、友達と「ああでもないこうでもない」と話し合いながらの学びは喜びもひとしおです。そんな学び合いも面白がってほしいと思えます。

人生100年時代だと言われています。いくつになっても学び始めることはできますし、学び直しはできますが、この小学校の時期に、学ぶことは楽しいと思えるとその先学び続ける力になります。主体的に学ぶことができるように後押ししていきたいと思えます。そのために、学校は授業を常に改善していきます。黒板とタブレットを駆使しながら、子ども同士の学び合いを大切に授業を行っていきます。

